

第8回利賀ダム環境検討委員会(web会議)を開催します

利賀ダム建設事業は、庄川水系利賀川において、洪水調節、流水の正常な機能の維持、工業用水の供給を目的とした多目的ダム事業であり、平成5年度より建設を進めているところです。

利賀ダム建設事業を進めるにあたり、自然環境に配慮し自然と共生したダムづくりを目指すために、環境影響評価法に準じて環境影響予測及び評価を行い、必要に応じて保全措置等を検討し進めることとしています。

このことから、平成16年8月24日に「利賀ダム環境検討委員会」を設立し、この地域の状況を十分に把握し、自然環境に精通した有識者の方々の助言、指導を得ながら「利賀ダム環境レポート（仮称）」の作成を目指しています。

このたび、第8回委員会を下記のとおり開催しますのでお知らせします。

記

1. 開催日時 令和3年2月9日（火） 10:00～12:00
2. 開催方法 web会議（公開）
3. 議事内容 (1) 第7回委員会の指摘事項と対応
(2) 環境レポート（案）、モニタリング計画（案）について
4. 公開方法
新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、web会議により開催します。
会議の傍聴は、web通信状況によって、映像の乱れや一時的に停止する可能性があることをあらかじめご了承ください。

• web会議URL

[URLはこちら](#)（Microsoft Teams） 10分前から入室可能です。

利賀ダム工事事務所ホームページに掲載する記者発表資料をクリックすることで入室できます。

web会議参加時に所属と氏名の入力をお願いします。参加者名が不明な場合は入室時にTeamsのチャット機能で確認させていただきます。

議事要旨は、後日、利賀ダム工事事務所webサイトに掲載します。

問い合わせ先



国土交通省 北陸地方整備局
利賀ダム工事事務所

TEL (0763)-33-4701（代表）

（技）副所長 久保 光晶（内線204）

調査設計課長 河村 陽一（内線351）

※非通知は着信できません

URL: <http://www.hrr.mlit.go.jp/toga/>

利賀ダム環境検討委員会のこれまでの開催状況

第6回利賀ダム環境検討委員会

日時：令和元年6月21日（金）13時～15時 会場：利賀村公民館アーパス
議事：利賀ダム建設事業の経過（過去委員会の内容および現場の進捗状況）
影響予測の検討方針、検討状況

第7回利賀ダム環境検討委員会

日時：令和2年2月27日（木）13時30分～15時30分 会場：砺波市文化会館
議事：環境影響予測の結果
保全計画（案）について

第8回利賀ダム環境検討委員会（今回）

日時：令和3年2月9日（火）10時～12時 WEB会議による
議事：環境レポート（案）について
モニタリング計画（案）について

参 考

利賀ダム環境検討委員会構成

（五十音順、敬称略）

氏 名	経歴、勤務先	担当分野
阿部 學	元新潟大学農学部教授 日本猛禽類研究機構理事長	動物（鳥類）
池本 良子	金沢大学理工研究域地球社会 基盤学系教授	水環境
大井 徹	石川県立大学生物資源環境学 部環境科学科教授	動物（哺乳類）
田中 晋	富山大学名誉教授	生態系、動物（魚類、水生生物）
中田 政司	富山県中央植物園園長	植物、景観、人と自然の触れ合 い活動の場
中村 浩二	金沢大学名誉教授 石川県立自然史資料館館長	動物（昆虫類）
南部 久男	元富山市科学博物館館長	動物（両生類、爬虫類）

参 考

事業範囲内において確認された重要種（植物）について

令和元年5月に行った事業区域内での植物相調査において、富山県レッドデータブックでは”絶滅＋野生絶滅”とされているチョウジソウが確認されました。

なお、環境省レッドリストでは”準絶滅危惧”とされています。

前回委員会（令和2年2月）においては盗掘・攪乱の恐れがあるため、植物の重要な種の内、他1種として説明していましたが、令和2年度に保全対策が行われたため、今回公表いたします。

県内でのチョウジソウの確認記録は、1966年に南砺市の旧平村で確認された以降ありません。

今後、事業により改変される可能性がある場所であったため、土地の所有者である南砺市にお伝えし、南砺市により自生地外保全がされました。

自生地外保全は富山県中央植物園に依頼して行われ、全個体を植物園内に移植いたしました。

確認されたチョウジソウ



令和元年5月撮影